



レゴランド®・ジャパン・リゾート

施設内飲食店でのプラスチック製ストローの使用を 2018年12月末までに廃止決定 ～世界規模の環境保護の取り組みを強化～

レゴランド・ジャパン株式会社（所在地：愛知県名古屋市／代表取締役トーベン・イエンセン）は、2018年12月末までに「レゴランド®・ジャパン・リゾート」内の「レゴランド®・ジャパン」および「レゴランド®・ジャパン・ホテル」の各施設の飲食店において、使い捨てプラスチック製ストローの使用を廃止することを決定いたしました。

これは、当社の親会社であるエンターテインメント・レジャー企業マーリン・エンターテインツ（所在地：イギリスドーセット州／CEO ニック・バーニー）*が、所有する世界各地のアトラクション施設全域でプラスチック製ストロー使用の段階的な廃止の決定に基づくものです。

今後は、プラスチック製ストローの代替品として、紙を使ったストローを提供いたします。

今回の決定について、マーリン・エンターテインツ CEO ニック・バーニーは以下のようにコメントしております。

「マーリン・エンターテインツは、すべての運営施設で環境に与える影響の改善をお約束します。大勢のお客さまと同様、使い捨てのプラスチック製ストローが環境に与える悪影響を懸念しているだけでなく、当社のシーライフチームが日常的に環境問題に取り組んでいることから、当社のすべての事業で対応すべきであると考えています。私たちはプラスチック製品の使用を最小限に抑えるために、直ちに実践できる取り組みとしてまずはプラスチック製ストローの廃止を実施します。」

レゴランド®・ジャパン・リゾートは、今後もキッズリゾート施設としてお子さまとご家族に笑顔を提供するとともに、省エネルギーや環境破壊の防止など世界規模の環境保護に積極的に取り組んでまいります。

※マーリン・エンターテインツ（Merlin Entertainments）

マーリン・エンターテインツは、家族向けエンターテインメント施設を運営する世界的大手企業です。ヨーロッパ最大かつ世界第2位の集客数を誇るアトラクション施設事業者として、現在、4大陸25カ国で120以上のアトラクション施設、18のホテル、6つのホリデービレッジを展開しています。世界的および地域的ブランドの象徴として、29,000人におよぶ従業員（ピーク時）の使命感と情熱で、6,500万人を超える世界中のお客さまに、思い出に残る体験を提供することを目指しています。

マーリン・エンターテインツは、11月22日に開催されたビジネス・イン・ザ・コミュニティ（BITC）の環境リーダーシップチームによる「Waste to Wealth Summit」の一環として、2018年末までに全世界でプラスチック製ストローの使用を廃止することを誓いました。

<本件に関する報道関係の方のお問合せ先>
LEGOLAND Japan 株式会社 PR担当 / 小栗、平野
TEL:052-740-8457 MAIL:press@LEGOLAND.jp